

## 加東市に姉妹都市オリンピア市の学生訪問団 18人が来市！ ～兵庫県ワシントン州事務所からの報告～

7月31日(木)～8月9日(土)、ワシントン州首都オリンピア市の高校生16人(男子5人、女子11人)と引率2人が姉妹都市である加東市を訪問しました。

加東市とオリンピア市は、昭和56年の姉妹都市提携と同時に市民交流団の派遣がスタートし、学生の相互派遣事業は昭和63年から毎年実施しています。

オリンピア市の訪問団は、NPO法人加東市国際交流協会のアレンジにより、地域家庭にホームステイしながら、市長を表敬訪問した他、県立社高校で部活動(剣道・柔道・書道・美術など)を体験したり、

保育園で児童と手遊びや折り紙などで交流しました。また、盆踊りの指導を受けた後、浴衣を着て同市花火大会に参加する等、多くの市民と交流しながら日本文化を学びました。さらに、訪問団は兵庫教育大学で学生と交流するとともに、県立広域防災センターを訪問し、地震体験装置や火災時の煙からの避難訓練も体験するなど日本の防災について学びました。最終日のホストファミリーとのお別れ会では、涙しながら別れを惜しみ、「必ず日本に帰ってきます」という言葉も聞かれました。

オリンピア市では、両市の交流を支えるためオリンピア加東姉妹都市委員会という非営利団体を組織しています。同委員会は、昨年度の兵庫県・ワシントン州友好提携50周年では同県州内の姉妹都市として記念事業を一緒に盛り立てました。

県ワシントン事務所では、今後も、このような県と市町の姉妹州省・姉妹都市の交流を積極的に支援していきたいと考えています。



加東市長を表敬訪問



県立社高校で様々な部活動体験



色とりどりの浴衣を着て花火大会へ

※詳細についてのお問い合わせは

(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課、交流・協力課  
TEL 078-230-3267 まで